

## 農業農村整備事業等再評価地区別資料

局 名	関東農政局
-----	-------

都道府県名	茨城県	関係市町村名	古河市、坂東市、常総市 及び 結城郡 八千代町
事業名	農村地域防災減災事業	地区名	南総上流
事業主体名	茨城県	事業採択年度	平成 13 年度

## 〔事業内容〕

事業目的： 本地区は、茨城県南西部に位置し、飯沼川流域に開けている水田地帯である。この地域では、地下水の過剰な汲み上げに起因して著しい地盤沈下現象をおこしている。農業用施設への被害も多大であり用水・排水機場の抜け上がり、用排水路の中だるみ逆勾配等により用水不足、湛水被害に悩み続けている。

このため、本事業による各機場と用排水路等の改修によって、農業用施設の機能復旧を図り、本地域全体として農業経営の安定と国土保全を図るものである。

受益面積： 470ha

主要工事計画： 用水機場 7か所  
排水機場 1か所  
用排水機場 4か所  
用水路 470ha  
排水路 8km  
橋梁 6か所

総事業費： 5,551百万円（計画総事業費：4,300百万円）

工期： 平成13年度～令和9年度（計画工期：平成13年度～平成26年度）

関連事業： なし

## 〔項目〕

## ア 事業の進捗状況

本地区の令和6年度までの進捗率は、55.5%である。内訳として機場は12か所全ての整備が済んでおり進捗率は100%、用水路は整備済み307haで進捗率65%、排水路は整備済み1.3kmで進捗率16%、橋梁工は整備済み3か所で進捗率50%となっている。

## ① 計画工期に対して著しい変更は認められないか

水道管理設下の道路において、排水路を横断する必要があるため、施工にあたり企業局と協議を行っていたところ、水道管を移設する必要が生じた。このため、施設構造や施工方法の見直し及び協議調整に時間を要し、事業が長期化することになった。

水道管に関する協議調整が令和6年度までに完了したことから、順次水道管の仮廻し作業や水道管移設作業などを進めているところであり、早期完了に向け、計画的に事業進捗を図る予定である。

- ② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか  
地元負担について、関係者との合意形成が図られている。

イ 関連事業の進捗状況

該当なし

- ① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか  
農業農村整備事業管理計画に即し、適切に連携・調整が行われている。
- ② 国営附帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか  
本地区は国営附帯地区に該当しない。

ウ 農林水産業の情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化

- ① 受益面積の増又は減が10%未満であるか  
当初計画(平成13年8月計画確定)以降、10%以上の受益面積の変動は生じていない。
- ② 主要工事計画の著しい変更が認められないか  
当初計画(平成13年8月計画確定)以降、主要工事計画の変更は生じていない。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化(費用対効果分析の結果を含む)

当初計画(平成13年8月計画確定)以降、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

- ① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分(労賃又は物価の変動によるものを除く。)が計画事業費の10%未満であるか  
当初計画(平成13年8月計画確定)以降、工法や事業量の変更は生じていない。
- ② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか  
古河市、坂東市、常総市及び結城郡八千代町の農業振興地域整備計画と整合が図られている。
- ③ 費用対効果分析の結果  
(B/C) 1.62 (現計画時: 1.22)

オ 事業コスト削減等の可能性

排水路工事に伴う仮設道路の盛土材について、他地区で発生した掘削土を活用することでコスト削減を図っている。今後、実施予定の工事においても、積極的にコスト削減に努めることとする。

カ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向

受益地では、水稻を中心に生産しているが、今後の地域農業を支えるため、野菜等への転換を促進し、担い手農家を中心とした農業経営を進めようとしている。  
このため、本地区を整備することで用水機能の回復や湛水被害の解消につながることから、早期完了を要望している。

キ 代替案の実現可能性(上記の検討の結果、問題があると認められる場合に限る。)

該当なし

ク その他

- ① 環境等の調和への配慮  
本地区は、広大な水田地帯が広がり豊かな田園風景が形成され、一級河川飯沼川や東仁連川、西仁連川が隣接することから、自然環境が残っており、古河市などの田園環境整備マスタープランにおいては環境配慮区域となっている。

本地区の周囲は水辺環境に囲まれているものの、地区内に特に配慮すべき生物が生息していない状況であり、工事実施に際して環境負荷の低い機械を使う等してきたところである。

今後、残事業となる橋梁工事等では河川区域等を工事するため、濁水発生や土砂流失を防止するなど、河川内の生態系への配慮に努めていく。

② 計画変更

該当なし

事業主体の 事業実施方針	継続する。
事業主体の 予算要求方針	令和8年度予算を要求する。
第三者 の意見	本地区は、現在までに用排水機場の整備が完了しており、事業進捗率は55.5%となっている。 本事業により、排水機場や排水路が整備された地域においては、地盤沈下に伴う湛水被害が軽減されるなどの事業効果が認められる。 今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。
補助金 交付の方針	予算を割り当てる。

# 農村地域防災減災事業

なんそうじょうりゅう

## 「南総上流地区」事業概要図【No.38】

